

# 光産業技術マンスリーセミナー

光協会では、光産業・技術の普及事業の一環としてマンスリーセミナーを毎月第3火曜日(原則)に開催しております。このセミナーは、光産業技術に関連する幅広い専門家を講師に迎えて、内外のトピックや最新の情報をわかりやすく解説していただくものです。

504 回	5/20 (火)	データセンタエクステンジのための Cloud-nativeで Open&Disaggregatedな 光ネットワークアーキテクチャ	日本電信電話株式会社 NTT未来ねっと研究所 フロンティアコミュニケーション研究部  主幹研究員 <b>西沢 秀樹 氏</b>
<p>(概要) 近年、面的に展開した多対多のデータセンタ拠点間において、光波長パスを用いてキャリア・DC・クラウド等多種多様なユーザーのTRx間を需要に応じてオンデマンドに接続するデータセンタエクステンジ(DCX)が注目を集め、IOWNグローバルフォーラム等で議論が進められている。DCXを実現することで、各事業者はメトロエリアに分散されたデータセンタを仮想的に一つの大規模データセンタとして活用できる。本講演では、光伝送領域のデジタルコヒーレント技術とデータセンタにおける仮想化技術を組み合わせたDCXのための新しいインフラアーキテクチャと要素技術を提案し、日米欧で実施したフィールド検証した結果を報告する。</p>			<p><b>受講申込</b></p> 
505 回	6/17 (火)	低消費電力ネットワーク、信号処理を目指した 光デバイス — 適材適所な材料を用いて —	早稲田大学  名誉教授 <b>宇高 勝之氏</b>
<p>(概要) 昨今のAIの著しい普及はデータセンタやグローバルネットワークのさらなる大容量化、高速化を促進させているが、同時にこれらネットワークの低消費電力化の要請は一層喫緊の課題となっている。光デバイスの高速化と共に、全フォトニックネットワークに象徴されるように電子デバイスから光デバイスの置き換えもシステムの低消費電力化に大きく貢献すると考えられている。その際、機能に応じて光デバイスの構造は元より適材適所な材料選択が重要であり、かつそれらデバイスを有機的に融合したハイブリッド集積化も不可欠となる。このような観点から、講演者が取り組んできた光デバイスを含めて、技術動向を俯瞰したい。</p>			<p><b>受講申込</b></p> 
506 回	7/15 (火)	OCTの産業計測への応用	santec LIS株式会社 研究開発グループ システム開発チーム エキスパート <b>大矢 正人氏</b>
<p>(概要) OCT(OCT: Optical coherence tomography)は、非侵襲に対象物の内部を数μmオーダーで可視化する方法であり、医用応用の分野では眼科(眼底検査、白内障手術のための検査など)・皮膚科(がん検査など)・心臓血管でのカテーテル検査での診療で多く使われてきた。一方で、工業応用の分野でも、半導体・電池・自動車などの分野で導入が進んできており、それぞれの分野で厚み測定や内部と表面の欠陥検査、形状計測などで使用されている。また、画像解析の手法も進み、計測へ応用されてきている。今回、OCTの工業用途での応用を中心に発表を行う。</p>			<p><b>受講申込</b></p> 

## 光産業技術マンスリーセミナー 参加要領

会場：オンライン開催  
定員：90名(定員になり次第締め切らせていただきます。)  
時間：15:30~17:30

参加料：銀行振込でお支払い下さい。(消費税込み)  
光協会賛助会員：1,500円  
一般：3,000円  
大学・公的機関：無料(学生・院生含む)

お申込み：各回毎の二次元バーコードからお申し込みください。詳細は下記HPをご参照ください。

マンスリーセミナーHP <https://www.oitda.or.jp/seminar/monthly/>

事務局：マンスリーセミナー担当 武富・瀬戸山 Email: mly@oitda.or.jp TEL: 03-5225-6431

